



自然の中、親子で楽しんだマリンスポーツ。

親子でマリンスポーツにチャレンジ ～川面に響いた歓声！～

八月二十二日(土)。中央公民館主催の「親子チャレンジ教室」で、マリンスポーツに挑戦しました。参加した親子は十四組。大自然の中で親子の絆を深めてもらえたと思います。

現地到着 — 不安 —
午前九時。マイクロバスに乗って中央公民館を出発し、走る約一時間。三川村揚川ダムにあるマリンスポーツセンターに到着しました。さっそくライフジャケットを身に付けると、三川村教育委員会の職員から基本的なマナーや注意事項が説明されました。

「注意事項を守ってやれば大丈夫です。緊張して楽しんでください。」
川面を吹き渡る風は爽やかでしたが、説明を聞きながら広い川を見ている参加者の表情は不安そうでした。



カヌーの乗り方を教わる参加者。うまく乗れるか心配そう...

いよいよチャレンジ—感動—

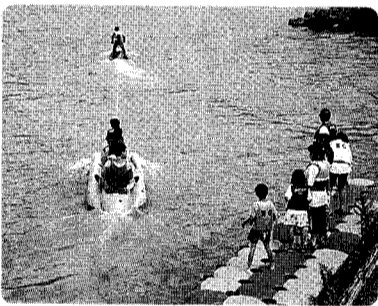
種目はカヌー、バナナボート、モーターボートの三種目。その種目によって三つの班を編成して、チャレンジが始まりました。

「カヌーA班。こつちにきてください。説明します。」
まずカヌーの乗り方。ひっくり返った時の脱出の仕方。オール操作など。
みんなは緊張でにこりともみません。

いよいよカヌーに乗り込むと指導者がそっと押し出します。否応なくカヌーは滑り出して行きますが、最初は同じ所をグルグル回人もいます。五分もするとやっと前へ進んで行くようになりました。

やがて「やったー!」「おーい!」あちこちで歓声が上がります。親子の呼び合う声が川面に響きました。

そして初めての体験を親子でチャレンジした満ち足りた笑顔で見つめ合っていました。



バナナボートに乗ってレッツゴー!

ちよこつと一言 (126)

松ヶ丘の行事
私の住んでいる松ヶ丘は、小須戸町の中でも比較的新しい住宅地だとも思いますが、自然が多くてとても住みやすいところ。山が近いためか春になるとうぐいすの鳴き声が聞こえます。

一月になると、正月の飾りを集めて焚火をする「さいの神」が行われます。雪の中にするめをつるした竹ざおを持



松ヶ丘 金子桂子さん

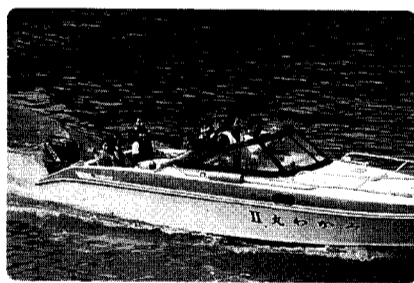
今までの不安が、吹き抜ける川風と共に消えていきました。次がバナナボート。ジェットオートバイにロープでつながれた黄色いバナナボートに五人がまたがります。

「しっかりとつかまって!」指導員がジェットオートバイのアクセルをふかすと、「ゴッー!」水しぶきがはね上がり「おー!」子ども達のかん高い声を残してみるみるうちに沖へ遠ざかっていきました。

男の子達が乗った時、勢いよくボートがひっくり返って沖の方で必死に泳ぎ着く姿が見えましたが彼らにとっては、まさに冒険と言えよう。そのスリルは一生忘れない思い出になるでしょう。船着場に帰ってきた彼らの目は生き生きと輝いていました。

最後は各班ごとにモーターボートに乗って、川を遊覧。改めて自然の雄大さを実感できたことでしょう。

活動の締めくくりに、みんなで作った「焼きそば」は、格別においしかったと思います。



モーターボートで川を遊覧。さわやかな風をうけて親子でにっこり。

マリンスポーツを終えて—感謝・絆—

笑顔と歓声に満ちた今回の「親子チャレンジ教室」も夕方には終わりになりましたが、まだ名残惜しそうな顔で帰り支度をする参加者の姿がなんとも言えずほほえましく写りました。

参加した親子にとっては夏のいい思い出になったと思います。

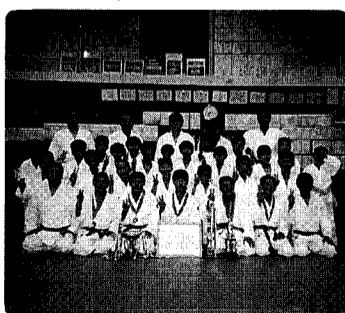
そして、指導してくれた三川村の職員の方々、送迎してくださったマイクロバスの運転手さんなどのご協力があったことも思い出の中に感謝してほしいと思います。

どんなことでもいい。親子が素朴な気持ちで触れ合うことから一層深い絆が結ばれるのではないのでしょうか。

マリンスポーツを楽しみながら、笑顔で見つめ合う親子の姿に家庭教育の原点を見た思いがしました。

つ行列ができてなかなか壮観な眺めです。一年の目標を書いた紙が燃えていくのを見て、気持ち新たにしているのが私の毎年の習慣になっています。

八月には「ふれあい祭り」が行われます。今年はいよいよの雨で残念でしたが、盆踊りやゲーム大会など手作りのお祭りという雰囲気、私は毎年とても楽しみにしています。



スポーツ大会催し物

第四回小須戸町 シングルテニス大会
日時 九月二十七日(日)
午前九時から
※雨天・中止

会場 小須戸町スポーツ公園
テニスコート

種目 男子シングルスAクラス、Bクラス
女子シングルスAクラス、Bクラス

参加料 千円(テニス協会員は無料)

参加資格 小須戸町在住者、在勤者、又はクラブ所属者

申込先 中央公民館又はスポーツ公園事務所
申込バツ 九月二十五日
主催 小須戸町テニス協会
第十八回新潟県スポーツ少年団総合体育大会
八月二十三日(日)開催

◎空手道大会
会場 松代町
女子組手 第三位
◎バドミントン大会
会場 上越市総合体育館
〔中学女子団体戦〕(敬称略)
二位 原美貴子(文京町一)
藤田涼子(諏訪町一)
松田亜古(文京町一)
大野綾子(松ヶ丘)
丸山葉子(鶴出古木)

全国大会出場!!
小須戸町柔道スポーツ少年団
七月十九日(日)。上越市総合体育館で行われた第九回新潟県少年柔道大会に於いて、小須戸町柔道スポーツ少年団Aチームが初優勝をかざりました。

十月十一日(日)に、講道館で行われる文部大臣杯争奪日整全国少年柔道大会に新潟県代表として出場いたします。選手活躍を期待いたします。

◎剣道大会
会場 分水町総合体育館
〔小学生五・六年部団体戦〕(敬称略)
優勝 陸 隼人(小須戸小五年)
城丸恵一(矢代小六年)
田沢孝紀(小須戸小六年)
村井仁夢(小須戸小六年)
高山雄太(小須戸小六年)

〔中学生男子の部〕
優勝 田中信洋(小須戸中三年)
市川雅史(小須戸中三年)
栗林 優(小須戸中三年)
田澤詠司(小須戸中二年)
坂本一樹(小須戸中三年)

〔中学生女子の部〕
優勝 涌井華子(小須戸中二年)
高山麻美(小須戸中三年)
内山奈穂子(小須戸中三年)
三位 砂井万貴子(小須戸中二年)
陸 明香(小須戸中二年)
丸山喜枝(小須戸中二年)

「広報こすど」九月号で掲載されました「子どもクッキング講座」の日時が間違っていました。

左記に訂正いたします。

日時 九月二十六日(土)
午前九時三十分から
十二時まで



祝 成人!
新たな力を社会へ

八月十五日(土)。中央公民館三階ホールに於いて、成人式が行われました。参加者は八十名。その中には浴衣を着た女性の姿もちらほら。

式典は、来賓の方からの祝辞、新成人を代表して丸山卓さんから誓いの言葉、そしてアトラクションで小須戸喧嘩太鼓が披露されました。最後に皆で記念撮影を行い式典は終了しましたが、会場では懐かしい友人達との久々の再会で、話しに夢中になっている姿が印象的でした。



浴衣姿の女性がめだった今年の成人式。

第十五回 文化講演会のご案内

小須戸町でも川柳の大家として知られている大野風柳先生。

感性豊かな発想から、物の豊かさより心の豊かさを大切にした生き方を語っていただきます。

日時 十月十一日(日)
午後一時三十分から

会場 中央公民館三階ホール

テーマ 「あなたの宝もの」
いま、感動浴の時代

【講師プロフィール】

略歴 昭和33年 新津市に生まれる。卒業後、工業専門学校(現新潟大学)に進学。北越製紙株式会社に入社。同社で勤務し、退職後、月刊「柳都」を創刊。50年活動的に新聞記者、文化活動家として活躍。昭和24年1月 柳都(月刊)を創刊。50年活動的に新聞記者、文化活動家として活躍。平成5年11月 文化活動家として活躍。平成9年11月 文化活動家として活躍。

催し物ご案内
第七十三回町民魚つり大会
日時 九月二十日(日)
会場 親松(バイパス橋下)入賞 大量賞 十二位まで 大物賞 一名
参加費 一、〇〇〇円
申込先 中央公民館

催し物ご案内
児童・生徒科学作品展
夏休みに作った児童生徒の力作です。ご覧ください。
日時 十月二日(金)～五日(月) 午前九時～午後四時三十分
会場 白根市カルチャーセンター(一階ホール)

催し物ご案内
きのこ講習会
きのこに関する正しい知識を得ながら、東蒲原郡の自然と物産を紹介します。
日時 十月四日(日) 午前九時四十五分から 午後三時まで
会場 上川村広谷
講師 「あすなろ森林公園」 長谷川治先生
参加料 八〇〇円
申し込み 小須戸町役場保健福祉課保健衛生係 三三八一三一一

催し物ご案内
十月のおもしろ雑学講座
日時 十月九日(金) 午後七時三十分～九時
会場 中央公民館二階会議室
講師 堀川益二さん
テーマ 「時効について」
◎第七回チャリティー歌謡ショー
日時 十月十八日(日) 午前十時三十分開演
会場 中央公民館三階ホール
主催 カラオケ広場
後援 小須戸町文化協会 小須戸町中央公民館

お知らせ
町民展準備の為、十月二十七日(火)から三十一日(土)まで休館とさせていただきます。なお、町民展は十一月一日(日)から三日(火)に開催します。

催し物ご案内
矢代田分館 山の手運動会
日時 九月二十七日(日) 午前八時三十分開会
会場 矢代田小学校グラウンド (雨天、十月十日)

催し物ご案内
新保分館 新保分館運動会
日時 十月四日(日) 午前九時開会
会場 町民体育館

催し物ご案内
小須戸分館 第三回ふれあいフェスティバル
日時 十月四日(日) 午前九時三十分開会
会場 信濃川親水緑地公園 (雨天、第二町民体育館)



真剣にパソコンに向かう参加者の方々。

10月の相談日
二日(金)・九日(金)・十八日(金)・二十三日(金)・三十日(金)
受付時間 午後一時～五時
電話番号 三八一三三〇〇
お名前を言わなくても構いません。秘密は、固く守ります。

分館催し物ご案内
矢代田分館 山の手運動会
日時 九月二十七日(日) 午前八時三十分開会
会場 矢代田小学校グラウンド (雨天、十月十日)

催し物ご案内
新保分館 新保分館運動会
日時 十月四日(日) 午前九時開会
会場 町民体育館

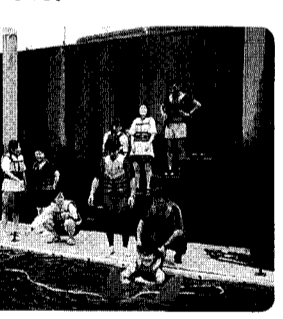
催し物ご案内
小須戸分館 第三回ふれあいフェスティバル
日時 十月四日(日) 午前九時三十分開会
会場 信濃川親水緑地公園 (雨天、第二町民体育館)

「今、子どもたちは」(25)

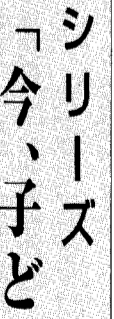
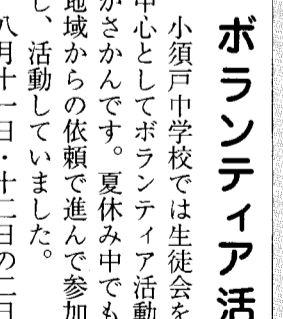
ボランティア活動 小須戸中学校
小須戸中学校では生徒会を中心としてボランティア活動が盛んです。夏休み中でも地域からの依頼で進んで参加し、活動していました。
八月十一日・十二日の二日間「保育園児ふれあい体験」として、夏休み前にボランティア委員会が「保育園児と遊んでみませんか。」と全校に呼びかけたところ多数の生徒が参加してくれました。
生徒たちは、四～五名づつ「ひまわり組」や「さくら組」などに配置され、園児たちと歌を歌ったり絵を描いたりと一緒に楽しく遊んで過ごしていました。
中学校のボランティア活動は地域からも注目されており、依頼の件数も年々増えてきています。生徒会ボランティア委員会を中心に、今後ともますますボランティアの輪が広がっていくことを期待します。



ボランティア活動 小須戸中学校
小須戸中学校では生徒会を中心としてボランティア活動が盛んです。夏休み中でも地域からの依頼で進んで参加し、活動していました。
八月十一日・十二日の二日間「保育園児ふれあい体験」として、夏休み前にボランティア委員会が「保育園児と遊んでみませんか。」と全校に呼びかけたところ多数の生徒が参加してくれました。
生徒たちは、四～五名づつ「ひまわり組」や「さくら組」などに配置され、園児たちと歌を歌ったり絵を描いたりと一緒に楽しく遊んで過ごしていました。
中学校のボランティア活動は地域からも注目されており、依頼の件数も年々増えてきています。生徒会ボランティア委員会を中心に、今後ともますますボランティアの輪が広がっていくことを期待します。



ボランティア活動 小須戸中学校
小須戸中学校では生徒会を中心としてボランティア活動が盛んです。夏休み中でも地域からの依頼で進んで参加し、活動していました。
八月十一日・十二日の二日間「保育園児ふれあい体験」として、夏休み前にボランティア委員会が「保育園児と遊んでみませんか。」と全校に呼びかけたところ多数の生徒が参加してくれました。
生徒たちは、四～五名づつ「ひまわり組」や「さくら組」などに配置され、園児たちと歌を歌ったり絵を描いたりと一緒に楽しく遊んで過ごしていました。
中学校のボランティア活動は地域からも注目されており、依頼の件数も年々増えてきています。生徒会ボランティア委員会を中心に、今後ともますますボランティアの輪が広がっていくことを期待します。



YOUNG VOICE
私は思う
僕は思う
この前の新聞で、新潟県は不登校をしている子や登校拒否をした子が全国でもかなり多いという記事を見てショックだった。
多分、今の時代は昔の時代と比べて、親が子に期待すること、友人や先生との人間関係、勉強や部活が、いろんな意味でハードすぎるのだと思う。先生や親に心の悩みを打ち明けた子は、かなり多くいると思う。
しかし親は勉強をとにかくすればいい。先生は自分の仕事や会議がぎっしりつまっている生徒の相談にのっている場合ではないというのが実情であろう。そんなことより子どもの気持ちや分り合おうことが勉強より何より一番大切なことではないのか。子の気持ちも分らないのいやなものを押しつけられる一方じゃ子どもだってストレスがたまるとは思わない。
現在、少子化で教師の数を減らさなくてはならないといわれているが、そういう時代だからこそ、勉強や部活以外に「心の教師」というのが必要なのではないか。心の底から本当に相談できる教師を子ども達は求めていると思う。早く大人達が気付いて、このどん底の世界を助けてほしい。
一女子高生

文芸欄
柳 不況など何處ぞとばかり花火あげ 藤井春江
洪水が花火で夢も押し流す 増井都留
尺玉の打ち上げ減らす不況風 高橋ただし
孫達へ仕掛けた花火見すかされ 栗原ひさし

川 古国の河内の国の御陵の杜をうつつに妹とあふぐ 我妻清作
かへ渡るふどう色付く頃り父がいまさげ一〇才 野俣怜子
いく度も人手をかけたし食物が生ごみと化し廃棄されゆく 本多玲子
田の中に新しき街現われて灯りに夜は閑しいぬ 長井利恵子

短 濁流のたかぶり梅雨の信濃川 牧野信雄
誕生の写真を見て夏見舞 藤井れい
花器の水取り替へてをり今朝の秋 須藤恵美子
潮の香のときをり抜けて薪能 篠田悦子
ゆくりなく郭公を聞くよき日かな 佐久間久子
術後とはつくづく睡しづく法師 内山越楼
簾吊る板の間広き峽の家 田中美根子
水替えることに金魚の彩新た 五十嵐香月

文芸欄
柳 不況など何處ぞとばかり花火あげ 藤井春江
洪水が花火で夢も押し流す 増井都留
尺玉の打ち上げ減らす不況風 高橋ただし
孫達へ仕掛けた花火見すかされ 栗原ひさし

川 古国の河内の国の御陵の杜をうつつに妹とあふぐ 我妻清作
かへ渡るふどう色付く頃り父がいまさげ一〇才 野俣怜子
いく度も人手をかけたし食物が生ごみと化し廃棄されゆく 本多玲子
田の中に新しき街現われて灯りに夜は閑しいぬ 長井利恵子

短 濁流のたかぶり梅雨の信濃川 牧野信雄
誕生の写真を見て夏見舞 藤井れい
花器の水取り替へてをり今朝の秋 須藤恵美子
潮の香のときをり抜けて薪能 篠田悦子
ゆくりなく郭公を聞くよき日かな 佐久間久子
術後とはつくづく睡しづく法師 内山越楼
簾吊る板の間広き峽の家 田中美根子
水替えることに金魚の彩新た 五十嵐香月